

がんぎネットだより

発行日 令和4年3月10日(木)

発行No No.15

編集

上越地域在宅医療推進センター

新しい旅立ちの季節となりました。

昨年、みょうこうケアフォーラムに参加し、「認知症の方を一人の人として尊重し、その人の視点や立場に立って理解しながらケアを行う。」というパーソンセンタード・ケアを学ぶ機会を得ました。認知症の方への関りは通り一遍では済まされるものではなく、皆様もご苦労されていると思います。

そこでこの度、高田西城病院 認知症疾患医療センターについて紹介いたします。

*** 高田西城病院 認知症疾患医療センター ***

認知症疾患医療センターの活動について

高田西城病院認知症疾患医療センター長 森橋恵子

みなさま、「認知症疾患医療センター」をご存じですか。

新潟県の指定を受け、本人や家族からの医療相談、地域からの相談、鑑別診断や行動心理症状の対応、研修会の開催など行っています。

今回は活動の一部を紹介します。

1. 「脳の健康外来」や「もの忘れ外来」について

「忘れっぽくて心配」と健康チェックしたい方、「同じことを何度も言う」「しまい忘れが増えた」「料理や片付けの手順があやふやになった」など判断力や理解力に不安な方、「認知症の程度を知りたい」、「落ち着かない、夜寝ない」など症状の相談をしたい方など、お気軽に専門外来をご利用ください。近年は、免許証更新にあたり免許センターから診断書提出を求められ、予約を入れる方も増えています。受診希望の方は予約制になっておりますので、まずはお電話いただきたいと思います。

2. 専門医療相談について

本人・家族や地域機関などから、電話相談や来所相談を受けています。「受診させたいが本人が渋っている」「精神科に抵抗がある」「日々の対応に悩んでいる」「急に落ち着かなくなった」「サービスが利用できない状況になった」等困っていることを、地域と連携しながら専門職が丁寧に対応しますので、お気軽にご相談ください。

3. 若くして認知症になられた方の家族教室について

若年性認知症の家族を対象に開催しています。今年は感染対策を講じながら、全4回コースで開催しました。1回目は「病気の理解」、2回目は「サービス・制度」、3回目は「関わり方」、4回目は「家族自身のストレスマネジメント」をテーマに行い、合計で本人1名・家族17名が参加しました。また毎回様々な専門職も参加しました。支援のきっかけ、関わりの振り返り、ストレスマネジメント習得の機会となりました。「仲間同士の話から気づかされた」「みんなの声で勇気づけられた」などの感想が寄せられています。

4. 本人ミーティング「にっこり会」や認知症カフェ「にっこりカフェ」について

残念ながらコロナ禍で今は休止中です。本人ミーティング「にっこり会」は令和1年度には4回実施し、60代～80代の13名が参加し、みんなで企画したランチ会や散歩やおしゃべり会などを楽しみました。また認知症カフェ「にっこりカフェ」も第55回と定着したなか中止となり、開催要望にお応えできず心苦しいまま現在に至っています。毎回30～40名の本人・家族・地域の皆様と一緒に歌ってコンサートを楽しんだり、介護の話に花が咲いたりしていました。今後、形式は変れども、気軽に参加できる馴染みの場の提供を再開していきたいと思います。

5. 若年性認知症支援コーディネーターについて

受診支援や就労を続けるための支援など、本人・家族支援を行っています。医療機関を問わず支援いたしますので、お気軽にお声がけください。

6. 「にっこり手帳」について

「にっこり手帳」は地域の関係機関とともに作成した連携手帳です。自分がどんな生活を送りたいか、将来の想いや希望を記録できたり、周りの人たちと想いを共有できたりする手帳です。希望者へは無料で配布しています。ご希望の方は最寄りの地域包括支援センターや当センターにお声がけください。

7. 研修会・協議会等の開催

この地域の認知症医療・ケアの課題を共有し、体制の構築を図るために協議会を開催したり、上越地域の認知症医療・ケアの質の向上を目指して、専門職向けの研修会も開催しています。

以上、簡単に活動紹介をしましたが、認知症に関することでお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。



「にっこり手帳」

将来・暮らしの希望を共有できる手帳で



令和3年度 第1回若くして認知症になられた方の家族教室

(会場：春日謙信交流館)

問い合わせ先： 上越地域在宅医療推進センター
毎週 月～金 9:00～16:00 (祝日・年末年始を除く)
TEL:025-520-7500 FAX:025-520-8686
E-mail: aizawa@ganginet.jp